



写真:ヤマボウシ (平成22年6月12日撮影)

## 「ヤマボウシ」

梅雨の約1か月間、えびの高原は雨と霧に包まれ、静かな森の中では、花々がひっそりと咲いています。

**梅** 雨の間の約1か月間、えびの高原は雨と霧に包まれ、ほとんど青空を見ることはできません。静かな森の中では、花々がひっそりと咲いています。白い

チョウが舞っているようなコガクウツギ、釣鐘の形のベニドウダン、足元に蠟細工のような独特の花を咲かせているのはギンリョウソウです。

雨にもまけず、天に向かって白い花を咲かせているのはヤマボウシ。端正な4枚の総苞片(がく)の真ん中に、丸い小さな両性花の集まりがあります。頭巾をかぶった法師に見立ててこの名が付いたと言われていますが、十字架や星座などにもたとえられます。真上に花を咲かせるため、林の中を歩いていても気づかないことも多く、見晴らしの良いところに立ってみて、白い樹冠を広げているこの木の多さに驚くことがあります。

秋には赤い、ビー玉くらいの丸くて甘い実をつけます。日本の野山にあるのはヤマボウシ、同じ仲間では北アメリカ原産のハナミズキは庭木としてよく植えられています。

(文/えびのエコミュージアムセンター)

ヤマボウシ  
*Cornus kousa*

ミズキ科ミズキ属の落葉高木